

第71回 全国高等学校駅伝競走大会出場報告

秋田県立秋田工業高等学校

全国高校駅伝大会出場募金委員会 後援会代表 渡邊 信一／OB会副会長 中川 衛／父母の会会长 中川 和哉



全国高校駅伝秋田県予選大会

お礼のことば

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度京都府京都市で行われました第71回全国高等学校駅伝競走大会の出場に際し、皆様から格別のご支援とご声援を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

8年連続26回目の全国大会では上位入賞と秋田県記録更新を目指し、部員一丸となり臨んだレースは、2時間6分10秒、24位という成績でした。

いずれの目標も達成することはできませんでしたが、コロナ禍を乗り越え、晴れ舞台で当日出し切れる力で懸命に襷をつなぐことができました。悔しい気持ちこそが今後の活力になると感じております。

これからも、ご支援いただいた皆様の期待に応えることができるよう精進して参ります。今後とも、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、大会と募金の決算報告にかえさせていただきます。

本当にありがとうございました。

御 礼

秋田県立秋田工業高等学校陸上競技部

監督 高 橋 正 仁

陸上競技部主将 中 川 雄 太

全国高等学校駅伝競走大会を 振り返つて

第71回全国高等学校駅伝競走大会出場に際し、多くの方々から御支援と御協力を頂き、心より感謝と御礼を申し上げます。

今大会は、8年連続26回目の出場となりました。新型コロナウイルスにより大会の開催が危ぶまれた中で都大路を走れることと、このような状況において御支援頂いた方々への感謝の気持ちを大切にしなければならないと考えておりました。結果としては、昨年度樹立した秋田県記録の更新と入賞を目指していたものの、2時間6分10秒の24位という成績で終えました。

本大会には、「上位入賞」と「秋田県記録更新」を目標に掲げ、部員一丸となつて臨みました。しかし、1区から7区まで自身の力を発揮することができず、24位という悔しい結果で大会を終えました。

秋田県内では、速さで勝つことは出来ても、全国では、絶対に競り負けない強さや最後まで絶対に諦めない気持ちの強さが必要になつてくると実感しました。

後輩たちには、一人ひとりが目標を再確認し、自分を律し自分に厳しく生活や練習を大切にしていき、全国の強豪校と勝負できるチーム作りをして欲しいと願います。

最後になりますが、沢山のご支援とご声援、本当にありがとうございました。

高校生のレースそのものが高速化し、その流れに乗り遅れないためには、まずは生活の部分の基礎基本の見直しを図り、人としての成長を育てていかなければならぬと考えております。

最後になりますが、これからも今までと変わらぬ御支援と御協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。



第71回全国高等学校駅伝競走大会出場募金決算報告書

収 入 7,161,763 円

支 出 7,070,967 円

残 額 90,796 円

《収入額》

(単位:円)

項 目	決 算 額	備 考
寄 付 金	7,161,761	募金延べ人数 2,045 人
雑 収 入	2	受取利子
合 計	7,161,763	

《支出額》

(単位:円)

項 目	決 算 額	備 考
選手・応援派遣費	2,211,673	選手交通・宿泊費 他
装 具 費	2,387,566	選手ブレーカー・シューズ・スウェット 他
強 化 費	1,190,320	トレーニング用具・栄養補給捕食費 他
募 金 費	1,136,248	趣意書・芳名簿・領収証・報告書作成費 他
雑 費	145,160	新聞広告費 他
予 備 費	0	
計	7,070,967	

この収支残額については、今後の陸上競技部の競技力強化費として活用させていただきます。